

小池都政から宇都宮都政へ転換を 都民の暮らし、雇用、生活を守る都政を実現させよう

6月18日告示、7月5日投票で東京都知事選挙が行われています。今度の都知事選挙は、4年間の小池都政の問題点を明らかにし、都民本意の都政に転換し、福祉と医療に手厚い都政を実現する選挙です。

小池都政はこの4年間、築地を守ると言いながら卸売市場を豊洲に移転し、都立病院・公立病院の地方独立行政法人化を進め、新型コロナ感染防止のPCR検査体制の拡充についても消極的な姿勢をとり続けています。また、都市再開発、競争力強化最優先で、保育園の待機児ゼロの公約は事実上棚上げされ、介護施設の高齢者人口あたりの定員数は、東京が全国最低水準です。国家戦略特区を活用した都市再開発、競争力強化を旗印にした羽田新ルートを進め、カジノ誘致の検討も進めています。

東京地評も参加する「革新都政をつくる会」が推薦し、立憲民主党、日本共産党、社会民主党、新社会党、緑の党の応援で都知事に立候補した宇都宮けんじさんは、次のような「緊急の3課題と重視する8課題」をかかげています。

〔緊急の3課題〕

①新型コロナウイルス感染症から都民の命を守る医療体制の充実と自粛・休業要請等に対する補償の徹底 ②都立・公立病院の独立行政法人化を

中止するとともに、これまで以上に充実強化を図る

③カジノ誘致計画は中止する

〔重視する8課題〕

①学校給食の完全無償化 ②東京都立大学の授業料を当面半額化し無償化をめざす ③都営住宅の新規建設、家賃補助制度・公的保証人制度の導入、原発事故避難者に対する住宅支援 ④公契約条例の制定、非正規労働者を減らし正規労働者を増やす ⑤災害対策（防災、減災、避難者対策など）を強化する ⑥道路政策（外環道、特定整備路線、優先整備路線）を見直す ⑦羽田空港新ルート低空飛行の実施に反対する ⑧温暖化対策を抜本的に強化するとともに緑と都市農業を守る

今度の都知事選挙は、野党共闘の流れを着実に前進させ、安倍自公政治を打破する世論を大きく強め、来年の都議選、再来年の参院選、近々行われる衆院選にも影響を及ぼし、政治革新のうねりを確かなものにするようになります。宇都宮都政を実現させ、政治革新の流れを確かなものにしましょう。



「都民の生存がかかった選挙」と訴える宇都宮氏



東京地評女性センターでは、都知事選に向けた仲間の声を出し合いました。東京独自の30人学級の実現や高齢者の東京独自の社会保障制度の切り下げをやめて、充実させてほしいなど、私たちの願いを都知事候補の宇都宮健児さんに託し、みんなで力を合わせて、支持を広げて、宇都宮健児さんと都政を都民の手に取り戻したいです。ひとりぼっちを作らない、誰も取り残さない、人権と個人の尊厳を守るために宇都宮健児都知事を誕生させたいです。

(18日告示日に都庁前で プラカード・プラスタを掲げアピール)